

高機能保冷剤「メカクール」、凍結を“色の変化”でお知らせ

チルド帯配送用 -2°C 帯、 -5°C 帯の凍結判断が明確に

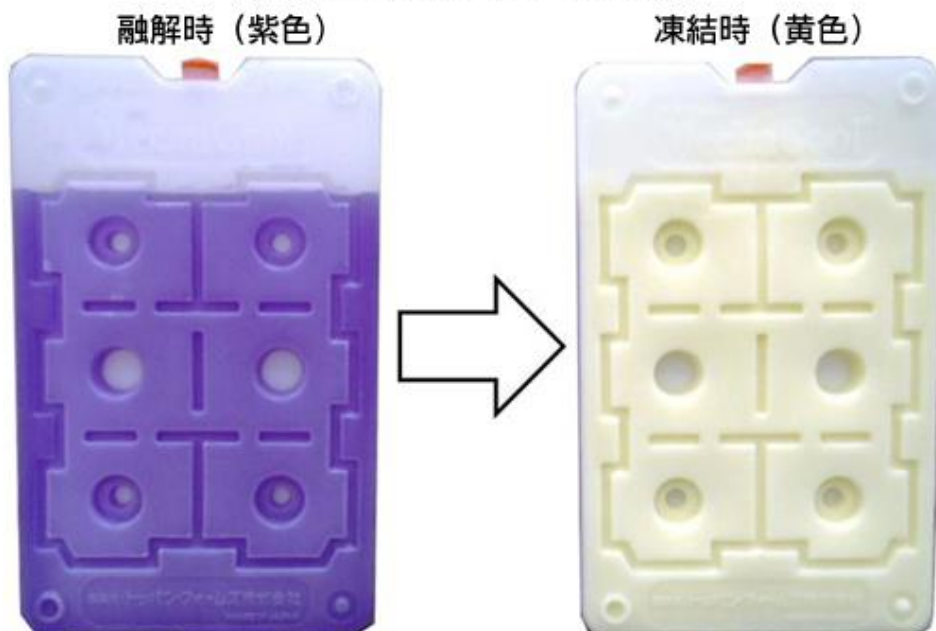
情報管理ソリューションのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、高機能保冷剤「メカクール」の新ラインアップとして、融解時と凍結時の色の変化で、目視によって凍結状況の判断が容易に行える新製品を5月26日より販売します。新製品は融解時に紫色、凍結時には黄色となり、融解と凍結の区別を明確に“見える化”しました。この2色は色相環の反対色であり、凍結不十分の場合は、黄色い凍結部の中に非凍結を表す紫色を鮮明に確認することができます。今回、 -2°C 帯と -5°C 帯の2つの温度帯をラインアップします。

「メカクール」の -2°C 帯と -5°C 帯は、チルド帯の配送に適しており、青果・生鮮食品や医療・医薬品の輸送に用いられます。今回、凍結の“見える化”を実現したことにより、倉庫などの作業現場でも、保冷剤が完全に凍結しているかどうか判別しやすく、作業効率の向上や凍結不十分な保冷剤の使用による輸送物の品質低下を未然に防ぐことができます。

保冷剤の主材料は、医療用・化粧品用の原材料を使用しているため、安全性が高いのが特長です。主材料を変更したことで、従来品と比べ凍結時の膨張割合を50%抑制し、冷凍庫での凍結時や輸送時の積載効率を改善します。凍結時間も従来品より約20%短縮され、運用効率を向上させます。

トッパンフォームズでは、“見える化”対応した「メカクール」 -2°C 帯、 -5°C 帯を含め、定温輸送ソリューション全体で、2014年度に10億円の売上を目指します。

【融解時と凍結時の色の変化】



【特長】

1. 紫色から反対色の黄色への変色により、凍結状況が明確に判断できるため、作業効率の向上を実現します。
2. 主材料に医療用・化粧品用の原材料を使用することで、安全性が向上しました。
3. 主材料の変更により、従来品と比べ、凍結時の膨張割合が50%抑制され、冷凍庫での凍結時や輸送時のスペースを低減できます。また、凍結時間が約20%短縮され、運用効率を向上させます。

【今後の展開】

近年、常温車での定温輸送需要が高まり、市場は拡大しています。その中でチルド帯定温輸送の国内市場は年間約500億円規模に達しています。アジア圏で事業展開をしている日本企業でも、常温車での定温輸送導入の動きがあり、さらなる市場の拡大が見込まれます。

また、保冷箱を利用した定温輸送をすることで冷蔵・チルド・冷凍などの異なる温度帯の商品を常温車に混載することができ、積載効率の向上による運送費の抑制につながります。

トッパンフォームズでは、「メカクール」を中心とした定温物流ソリューションで培ってきた運用ノウハウなどを含め、最適なお提案をお客様に行うことで、国内外へビジネスを拡大していきます。

以上

※ 「メカクール」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 広報部 TEL:03-6253-5730